

### 3 交通事業会計

#### 〔概要〕

平成30年度の交通事業の運営については、「使いやすく、持続可能な地域公共交通網」を形成するため、「宇部市地域公共交通再編実施計画」に基づき、中心的な乗継拠点である宇部新川駅バスターミナルの乗り場を統一する一方で、東部の乗継拠点とした宇部興産中央病院への全便乗入れと新たなデジタルサイネージの設置により、乗継利便性の向上を図るとともに、利用しやすい車両への更新などを実施しました。

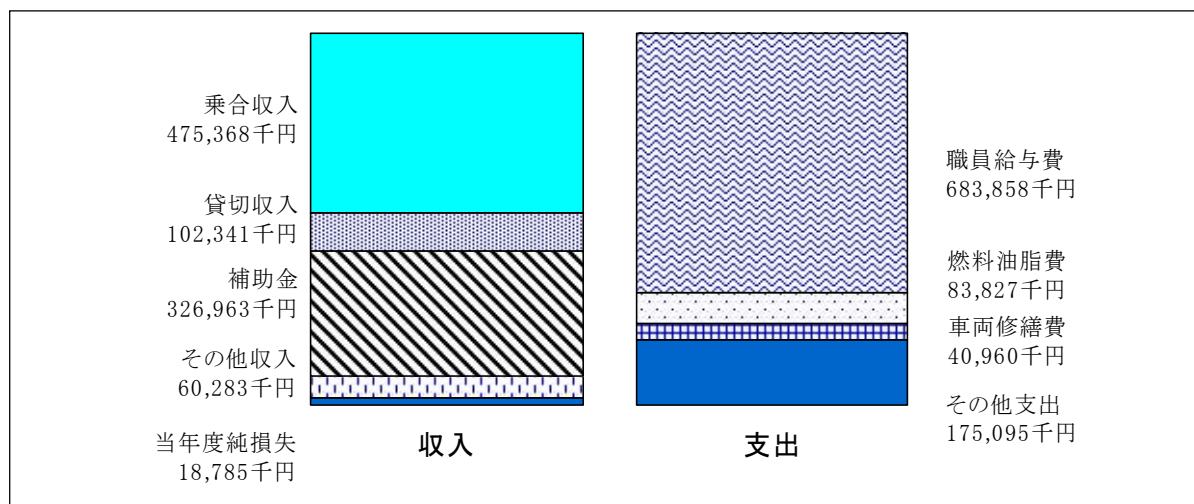
業務量については、乗合事業では、稼働バス台数は18,406台(前年度比94.3%)、走行キロ数は2,815千km(前年度比95.2%)、輸送人員は2,279千人(前年度比96.8%)となりました。

一方、貸切事業では、稼働バス台数は1,526台(前年度比86.4%)、走行キロ数は212千km(前年度比86.1%)、輸送人員は64千人(前年度比101.0%)となりました。

経営成績については、事業収益は964,955千円に、事業費用は983,740千円となり、収支差引の結果、当年度純損失は18,785千円に、また、当年度未処分利益剰余金は18,182千円となりました。

資本的収支については、収入は、企業債等で31,220千円、支出は、中型路線バス2台の新車購入費用及び企業債償還金等で115,846千円となり、差引不足額84,626千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,499千円及び過年度分損益勘定留保資金80,127千円で補てんしました。

#### 〔収益的収支〕



#### 〔資本的収支〕

